

今月のテーマ

Q&A6:アクセシビリティリーダーって何ですか?

「アクセシビリティリーダー (AL)」という資格に興味を持ったのですが、ALとはどういう人のことを指すのでしょうか。

AL育成協議会のHPを見たところ、「**個人や社会、環境や状況の多様性をよく理解し、様々な文脈においてアクセシビリティの推進により可能性を開拓できる人材**」がALと記載されていました。もう少し具体的に説明してもらえませんか。

様々な事情や背景により、何かに参加したいのに参加できなくて困っていたり、利用したいのに利用できなくて困っている人がいます。

その人たちの事情や背景を理解した上で、参加しやすさや利用しやすさを高めるための工夫を考え、対応できる人材のことをいいます。もう少し具体的には、以下の解説をご確認ください。

解説

例えば、車いす利用の学生にとっては、段差や坂道の多いキャンパス内を移動するのはとても大変です。

まして、雨や雪の日はなおさらで、次の授業に間に合わないかもしれません。**その学生のアクセシビリティを高めるためには、例えば以下のような対応が考えられます。**

- ・段差や坂道を解消するバリアフリー工事や、雨除けの通路を作る工事を行う
- ・その学生に自家用車での移動と駐車場使用の許可を出す
- ・その学生の履修する授業の教室をできるだけ同じ建物内の近い位置に配置する
- ・教室間の移動介助者を配置する

**あるいは、困っている人がいたら自然と手助けできるよう、全学生への啓発活動に力を入れるといったことも、対応として考えられるかもしれません。**

ALは、そのような様々な対応の選択肢を考え、状況に応じて可能な対応を行える人のことをいいます。

障がいの話に限らず、もっと身近なところで、例えばQRコードを活用した多言語案内表示の自動販売機なども、アクセシビリティを高める例といえます。

近年は、外国人観光客数が急増しており、言語案内表示は多様な国の人にとっての自動販売機の利用しやすさを高めています。



## 案内 アクセシビリティリーダー (AL) 資格取得コース

多様な背景の人たちの参加や利用の困難さを理解し、それを解消する手立てを考えられる人材を目指す資格として、[岡山大学においてもAL資格を取得可能な教育プログラム](#)が提供されています。

詳細は、以下のURLからAL資格取得に関する説明動画等を確認してください。

<https://www.ipec.okayama-u.ac.jp/shien/syougai/>

【対象】岡山大学在学学生、教職員（ただし、教職員の方は「2級（初級）」のみとなります。）

【申込期間】10月2日（水）～10月10日（木）  
（厳守）

【申込方法】以下のフォームに必要事項をご記入ください。

[2024年度・岡山大学アクセシビリティリーダー資格取得コース申込フォーム](#)

※お申し込み完了後、10月18日（金）までに連絡がない場合は、フォームへの登録が完了していない可能性があります。その場合は障がい学生支援室 ([shien-dr@okayama-u.ac.jp](mailto:shien-dr@okayama-u.ac.jp)) までお問い合わせください。



障がい学生支援室 一般教育棟D棟1階  
開室時間：月～金10:00～12:00 / 13:00～17:00  
TEL：086-251-8553  
E-mail：[shien-dr@okayama-u.ac.jp](mailto:shien-dr@okayama-u.ac.jp)



## 報告 障がい学生支援研修会でのATライブラリーの実施

2024年8月23日（金）に障がい学生支援研修会を行いました。今年度は、久しぶりに対面での開催とし、京都大学が実施しているHEAP（Higher Education Accessibility Platform（高等教育アクセシビリティプラットフォーム））の協力を得ながら、プレ企画と本企画を行いました。

ここでは、プレ企画として行ったATライブラリーの報告をします。



[Assistive Technology \(AT: 支援技術\)](#) の活用は、[障がい学生が学びの機会を得る \(アクセシビリティを高める\)](#) ために必要な代替手段を実現するのに役に立つものです。

これまでの障がい学生支援の現場では、AT機器の使用は非常に限定的なものになっていました。今回のATライブラリーでは、HEAPのメンバーに、AT導入の第一歩として体験会および支援に関するコンサルテーションを行っていただきました。

